

■ボランティア委員会

(委員長(地域連携室) 中尾 映子)

「札幌南一条病院ボランティアの会」は平成19年4月に発足しました。

ボランティアは札幌南一条病院の入院・外来の患者さんやご家族、並びに全ての来院の方々に真心をもって接し、癒しとやすらぎの雰囲気を作ることにより市民に愛され信頼される病院となるよう努めます。

また、会員の方が楽しさとやりがいを実感できるように努め、活動を通じて地域社会と病院との橋渡しとなり「地域に根ざし開かれた」病院づくりを目的とします。

活動内容

- (1) 来院・入院患者またその家族への案内、誘導など
- (2) レクリエーション活動：七夕、クリスマス会など
- (3) 話し相手、傾聴、本の読み聞かせ、あやとり、お手玉など
- (4) 車椅子の補助、移動、散歩の付添い
- (5) 院内の環境整備
- (6) その他目的を達成する為に必要な活動をします

2年前からボランティア準備委員会として資料集め、勉強会、検討会、体験ボランティアなどを行い、5月からいよいよボランティア導入開始となりました。

インターネット、ポスター、ボラナビ、道新などに募集をかけ、30名近くの間合せが有り、結果的には23名の方に申し込み頂きました。

面接で応募の理由を尋ねると、「患者さんに喜んで頂ければ」、「自分に何か出来る事があればお手伝いしたい」、「親がお世話になったので恩返しをしたい」「少しでも人の役に立ちたい」…等々、奉仕の精神で応募して下さいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

ボランティアの方々のこの貴重な気持ちを大切に、事故なく、無理なく、楽しく、患者様、ご家族、ご来院の方々、職員、ボランティア自身、全ての方々に喜んで頂けるような活動を展開していきたいと思っています。

まだまだ手探り状態ですが、みんなで心をひとつにして、頑張っていこうと思っていますので皆様のご協力よろしくお願い致します。

【ボランティア委員会 メンバー5名】

多田科長(6階)、中野渡科長(透析室)、高橋課長(総務課)、小林(MSW)

文責 中尾 映子